

科目名称(Course Title)				担当教員 (Instructor)	
地域金融論				齋藤 達弘	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	3 年次	講義	無	無
授業の概要 (Course Description)					
<p>金融は社会を豊かにする力を持っている。しかし、金融それ自体が価値を生み出すわけではない。金融の背景には価値を生み出す経済活動があり、金融はそれをサポートすることにより社会を豊かにする。金融を学ぶときには背景にある経済活動をイメージすることが重要である。</p> <p>この授業では経済学の視点から金融機関や証券市場の機能を学ぶ。授業の前半は、テキストを用いて、金融の仕組みや金融の力の本質を学ぶ。授業の後半は、『日本経済新聞』の連載や記事を教材にして、まずは金融が地域再生において果たす役割を、つぎにリーマン・ショック（2008年）から現在までの金融小史を学ぶ。日本経済論とミクロ経済学を履修済みまたは並行履修であることが望ましい。</p> <p>授業は、予習に基づく報告（何が書かれていたか）や意見（何が重要なポイントと考えるか）を受講生と質疑する形式で進める。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>この授業の到達目標は、</p> <p>(1) 金融の仕組みと金融の力</p> <p>(2) 経済活動をサポートする金融の役割を理解することである。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンスと金融論の全体像				
第 2 回	テキスト 第 1 章と第 2 章				
第 3 回	テキスト 第 3 章から第 5 章まで				
第 4 回	テキスト 第 6 章				
第 5 回	テキスト 第 7 章と第 8 章				
第 6 回	テキスト 第 9 章から第 1 2 章まで				
第 7 回	前半のまとめ				
第 8 回	中間試験と解説				
第 9 回	講義資料	やさしい経済学	地方再生の行方	金融の果たす役割 (1)	
第 10 回	講義資料	やさしい経済学	地方再生の行方	金融の果たす役割 (2)	
第 11 回	講義資料	日本の金融10年史 (1)			
第 12 回	講義資料	日本の金融10年史 (2)			
第 13 回	講義資料	日本の金融10年史 (3)			
第 14 回	講義資料	日本の金融10年史 (4)			
第 15 回	後半のまとめ				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>授業は授業計画にしたがって進める予定である。次回の内容（テキストや講義ノート、講義資料）を予習し、報告や意見の求めに応じる準備しておくこと。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
中間試験 期末試験	(50%) (50%)	秀：キーワードや考え方を特筆すべき水準で理解している。 優：キーワードや考え方を適切な水準で理解している。 良：キーワードや考え方をおおよその水準で理解している。 可：キーワードや考え方を最低限の水準で理解している。 不可：キーワードや考え方の理解が最低限の水準に達していない。
テキスト (Textbook)		川西諭・山崎福寿『金融のエッセンス』有斐閣、2013年。
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		池尾和人『現代の金融入門【新版】』ちくま新書、2010年。 内田浩史『金融』有斐閣、2016年。 村瀬英彰『金融論（第2版）』日本評論社、2016年。
備考 (Other Information)		授業計画に則して進める予定であるが、状況に応じて授業計画を変更することがある。また、受講者数により評価方法を変更することがある。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		メール連絡。